

科学のゆめ みんなのゆめ

つくば科学フェスティバル2001

青少年の科学に対する夢を育むため、研究学園都市各研究機関の研究者や教職員による分かりやすい実験や工作、実演等をとおして、科学の楽しさ、大切さを理解し、科学に親しむ機会を提供するイベントとして、つくば市等が主催し“つくば科学フェスティバル2001”が開催されました。本年は10月6日、7日の2日間にわたりつくばカピオで開催され、来場者数は、6日が2,966人、7日が2,960人でした。私たちの研究所は、昨年よりスペースを増し、紹介内容を充実させて出展しました。

液状化と雪崩^{なだれ}

「Dr.ナダレンジャーの自然災害の実験教室」は、地震の際の液状化現象をペットボトルで見せるエッキー・ニューエッキーや、雪崩現象^{なだれ}をナダレンジャー及び発泡スチロールによる簡単な仕掛けで紹介していました。雪に見立てた発泡スチロールと共に小さなスキーボーダーを走らせ、模擬救出を試みるなど、子供たちも熱心に参加していました。



Dr.ナダレンジャーの自然災害の実験教室

竜巻が発生した！

「ドライアイスで作る竜巻実験」は、身近な道具で大気の現象を再現してみるもので、ペットボトル内の空気と共にドライアイスから出る煙を掃除機で吸いだし、竜巻現象を目に見えるように発生させるものです。右巻や左巻は起きるんですかなどと質問したり、その現象に興味深くのぞきこみ理解していました。



ドライアイスでつくる竜巻模擬実験

地震計を作ろう

「ペットボトルで地震計を作ってみよう」は、塩ビ管やエナメル線、棒磁



ペットボトルで地震計をつくる工作

石などの材料を使い、原理的には現在使われている地震計と同じものを実際に作ってみようとするもので、研究者の説明をもとに熱心に作って、パソコンにつながり性能を確かめていました。

どんな地震計があるの？

「地震計のいろいろ」のコーナーでは、3種類の地震計を紹介し、付近を叩いたり床を飛び跳ねたりして、その違いを比較していました。また、地震計の波形の違いを音声に変換して聞き、近くの地震と遠くの地震の違いを実感していました。



各種地震計の紹介「地震計のいろいろ」をケーブルテレビが取材中

このようにして出展されたそれぞれの企画は、いずれも多くの方々に好評でした。防災科学技術研究所は、皆様方のご期待に応えるよう、今後更により企画の普及広報に努めていきます。
(問い合わせ先：企画部企画課)